



町長日誌

No.260

町長日誌の第 260 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を
町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月15日(日曜日) PM1:20

今日は日曜ですが、朝から興部保育所の運動会に出席して子供たちのかけっこや障害物競走などを応援。11時から紋別市で葬儀に参列。そして役場に戻り、溜まっていた決裁書類に目を通してから、この日誌を書いています。実は、先週10日から出張が続いています。北海道町村会の理事会、自民党・公明党への要望会、厚生労働省へ医師確保の要望、子ども家庭庁へ保育士確保の要望などを東京で行ってきました。今週は月曜日が北見市で国会議員への要望会、火曜日からは再び東京で農業の基盤整備事業推進全国大会と農水省との意見交換会などが行われます。また、今月末から西紋別5市町村の開発期成会要望や旭川紋別高規格道路期成会の要望活動が始まります。「要望」って何をやるの?と思われる方もいるでしょう。まず、道庁や国の省庁および国会議員などに今後予定している事業とそのために必要な予算などをオホーツク総合振興局や網走開発建設部と調整した上で書類にまとめお願いをすることを要望と言います。ですから、今要望しているのは令和8年度に予定している事業予算についてお願いなのです。このような要望活動は日本中の自治体が行っており7月末、遅くとも8月初旬までに各省庁は全国からの要望を取りまとめ必要予算額を積み上げます。そして、盆休みが終わったらいよいよ財務省との予算争奪戦が始まり12月には概算予算案が出来上がって閣議決定がなされますがこれが予算案となります。そして、翌年3月には国会で予算が確定するのです。このように私たちは今年度の予算を執行しながら1年後の予算を考えているのです。



5月29日(木曜日)

ホタテの稚貝放流が終了しました。昨年ホタテの幼生であるラーバの回収率が全道的に悪く心配していましたが沙留においては地元沙留産がまずまずのようで、留萌など地方産の稚貝確保も何とか出来たことから、1億4,700万粒の稚貝が放流されました。ホタテ漁の本操業は6月2日から始まりますが、価格が高く推移しており今年の水揚げが期待されます。

6月1日(日曜日)

農家では一番牧草の収穫作業が始まりました。本格的な収穫はもう少し後になりますが毎年早刈り収穫を希望する農家が出て、収穫機械の試運転も兼ねた作業が始まりました。牧草は穂の出る前の栄養価が高いとされています。しかし、乳牛の胃袋には良質な繊維も必要で、繊維分が多くなると栄養価は下がるのが牧草の性質のため、農家は総収量と良質繊維と栄養価のバランスを考えて収穫時期を決めるのですが、以前より1ヶ月ほど早くなっていて年3回の刈り取りを行う農家が増えているのです。

.....

中学校の運動会は寒い中での開催でしたが、翌週の小学校の運動会、そして今日の保育所の運動会と良い天候に恵まれました。自然は偶然の産物のように思われますが、海水温や北極海の状況、偏西風の蛇行などの様々な条件が重なり私たちに日照や慈雨を与えてくれます。農産物や水産物もこの天候に影響されながらも農家や漁業者の大変な努力により私たちに届きます。ですから、簡単に「余れば輸出すればよい、足りなければ輸入すればよい」という発言がどれほど生産者を傷つけているか理解していただきたいと思う今日の頃です。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

